

考えてみませんか——男女共同参画社会



町民アンケートにみる 現状と課題 2

職場や学校での男女に関するイメージ

職場や学校での男女に関するイメージでは、「女性は理数系の仕事には向いていない」について“そう思わない”と回答した人が8割超である一方、「職場・学校の管理職や団体の長は男性が向いている」や「女性が男性を立てると物事がうまく進む」について“そう思う”と回答した人が半数以上を占めています。「女性（男性）同士でないと分からない世界がある」については“そう思う”と回答した人は7割以上となっています。

日常生活において、固定的な性別役割分担意識*が根強くあると推測されることから、そのような慣習を改めるために、男女共同参画の考え方を普及していくことが必要です。

*性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。「男は仕事、女は家事・育児」「男性は主要な業務、女性は補助的業務」等は固定的な考え方により、役割を決めている例です。

(単位：％)

	回答数	そう思う	そう思わない
職場・学校の管理職や団体の長は男性が向いている	661	55.9	44.2
女性が男性を立てると物事がうまく進む	663	62.4	37.6
女性は理数系の仕事には向いていない	654	17.8	82.3
男性は結婚してこそ一人前だ	659	39.9	60.0
女性(男性)同士でないと分からない世界がある	652	76.5	23.5

※「無回答」を除いた件数を母数として表を作成



◆施策の方向性

男女があらゆる分野へ参画し、いきいきと活動できる社会の実現のために男女共同参画の考え方を普及していきます。

<取組内容>

具体的な施策名	事業の概要	担当課
講演会等の実施	男女共同参画地域推進員等と連携しながら、男女共同参画に関する講演会や啓発イベントを定期的に実施することで町民の関心を高め、正しい理解を促進します。	企画空港政策課
町民アンケートの実施	男女共同参画に関する意識を把握するため、計画見直しの際に町民意識調査を実施し、その推移に応じた施策展開に結び付けます。	企画空港政策課
広報紙等の活用	広報紙や町ホームページで男女共同参画に関する情報提供を定期的に行います。	企画空港政策課
関連図書の周知	町立図書館において、特集コーナーでの関連書籍の紹介および資料等の展示を行い、男女共同参画について周知します。	生涯学習課

このプランは、適切な進行管理のために、毎年度点検および指標の達成状況による評価を行います。また、有識者組織である「多古町男女共同参画推進会議」の意見、国・県の計画や法令改正等の動向を踏まえながら随時見直しを行い、次期計画の内容へ反映させていきます。国・県とも連携を図り、お互いに協力して効果的な施策の展開を目指します。

◀多古町女性消防組織“ひまわり隊”



◆6月23日～29日は「男女共同参画週間」です

町は、「多古町男女共同参画推進プラン」を平成29年3月に策定したところですが、国では毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」と位置付けて、男女共同参画の目的や基本理念について理解を深めることを目指しています。そのためには、性別にかかわらず職場・学校・地域・家庭内においてそれぞれの個性と能力を発揮できるように、町民の皆さん一人ひとりの取り組みが「男女共同参画社会」にとって大切です。

目指すまちの姿(基本理念) 男女が互いを尊重し、ともに輝く多古町

基本目標	男女が互いの人権を尊重し 男女共同参画意識を高めるまち	1. 男女共同参画の視点に立った意識改革と慣行の見直し ◀重点目標 2. 男女共同参画の視点に立った教育の充実 3. あらゆる暴力や差別の根絶に向けた環境づくり
	男女が共同してあらゆる分野に 参画できるまち	4. 男女のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の支援 5. あらゆる人が地域で自立して生活するための環境整備 6. 政策・方針決定の場への女性の参画促進 ◀重点目標
	男女が生涯を通じて健やかに 安心して暮らせるまち	7. 生涯を通じた男女の健康づくりの推進 8. 男女共同参画の視点に立った安心・安全の環境づくり ◀重点目標

町では8つの基本目標を策定しましたが、今月号では、その基本目標のうち重点目標として位置付けられた“基本目標1 男女共同参画の視点に立った意識改革と慣行の見直し”について考えてみます。

町民アンケートにみる 現状と課題 1

社会における男女の平等性

本町の男女共同参画に関する意識を、平成27年度に実施した町民アンケート調査からみると、社会における男女の平等性では、「社会全体として」は7割超が「男性が優遇されている」と回答しています。その他の項目でも、「学校教育のなかで」と「法律や制度のうえで」を除くすべての項目において、“男性が優遇されている”の割合が高く、“平等になっている”は「学校教育のなかで」で7割に達しているのみであり、“女性が優遇されている”が1割を超える項目はありませんでした。

(単位：％)

	回答数	男性が優遇されている	平等になっている	女性が優遇されている
家庭生活のなかで	624	54.6	37.7	7.7
職場のなかで	533	61.7	31.3	6.9
地域活動のなかで	529	59.5	33.5	7.0
学校教育のなかで	479	18.8	76.4	4.8
法律や制度のうえで	541	40.7	54.0	5.4
政治や政策決定の場で	532	69.5	28.6	1.9
社会一般の常識・慣習のなかで	585	72.5	23.8	3.8
社会全体として	582	74.2	21.5	4.3

※「無回答」、「わからない」を除いた件数を母数として表を作成

